2024年11月期 決算説明会

イーサポートリンク株式会社

2025年1月29日

E-supportlink,Ltd.

証券コード 2493

INDEX

- 2024年11月期 連結決算概要
- 事業構造改革の成果及び中期経営方針
- 青果売場構築支援事業の目指す姿
- 2025年11月期 連結業績見通し

2024年11月期 連結決算概要

E-supportlink, Ltd.

売上高は約18.5%増、営業利益は99.4%増

	実績	前期比
売上高	**5,406** 百万円	+843百万円（18.5%）
営業利益	**163** 百万円	+81百万円（99.4%）
経常利益	**182** 百万円	+106百万円（139.4%）
親会社株主に帰属する当期純利益	**135** 百万円	+88百万円（188.1%）

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

売上高と営業利益の主な増加要因（前期比）

E-supportlink,Ltd.

1 新規顧客

新規顧客の獲得

新規顧客への生鮮MDシステム導入開始、既存顧客グループの導入拡大
業務受託サービスも新規顧客獲得

2 料金改定

増加コストを踏まえ、システム利用料金を改定

増加した開発・保守等システム関連の費用を価格転嫁

3 取扱高増

各種サービスの取扱高の増加

受託業務量、システムトランザクション量が増加
青果売場構築支援事業のサービス導入店舗、取扱高が増加

4 経費抑制

各種費用の支出計画を見直し、変更

計画していた原価・販管費の金額の妥当性、支出時期の適切性
について見直しを実施し、結果として事業年度の経費を抑制

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2024年11月期　連結損益計算書

単位：百万円

	2023年11月期	2024年11月期		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	4,563	**5,406**	+843	+18.5%
売上原価	2,856	**3,503**	+647	+22.6%
売上総利益	1,706	**1,902**	+196	+11.5%
販売管理費および一般管理費	1,624	**1,739**	+114	+7.1%
営業利益	82	**163**	+81	+99.4%
経常利益	76	**182**	+106	+139.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	46	**135**	+88	+188.1%
一株当たり当期純利益（円）	10.61	**30.57**		

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます。

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2024年11月期　連結貸借対照表

単位：百万円

	2023年11月期末	2024年11月期末		
		実績	増減額	増減率
現金	2,902	**1,851**	△1,050	△36.2%
ソフトウェア	242	**692**	+449	+185.1%
投資有価証券	424	**454**	+30	+7.1%
資産合計	5,568	**5,444**	△124	△2.2%
負債合計	2,164	**1,915**	△249	△11.5%
株主資本	3,393	**3,506**	+113	+3.3%
純資産合計	3,404	**3,529**	+124	+3.7%
負債・純資産合計	5,568	**5,444**	△124	△2.2%

※百万円未満切り捨て。縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2024年11月期　連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	2023年11月期	2024年11月期
税引き前利益	+73	**+144**
減価償却費及び償却費	+108	**+126**
営業活動によるＣＦ	+246	**▲219**
投資活動によるＣＦ	▲290	**▲455**
有利子負債増減	▲320	**▲349**
財務活動によるＣＦ	▲348	**▲375**
現金及び現金同等物の増減額	▲392	**▲1,050**

※百万円未満切り捨て

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

セグメント別業績概要 【オペレーション支援事業】

単位：百万円

	2022年11月期	2023年11月期	**2024年11月期**	前期比
売上高	3,238	3,127	**3,507**	+12.1%
営業利益	1,219	1,065	**1,187**	+11.5%

セグメントの概況

- 輸入青果物サプライチェーン事業は、新規顧客獲得、受託業務量増加により増収
  リソースの再配置・体制再構築によるオペレーションの生産性向上
- 生鮮MDシステム事業は、量販店グループ各社への新規導入準備を継続
  システムのリプレースを実施、技術基盤の最適化、機能拡張の柔軟性を確保
  一部機能開発は要件の見直し、技術上の課題から計画遅延
- エスマルシェ事業は、新規獲得に至らぬも、取扱高増加により増収
  ドラッグストア向け青果売場構築支援事業は、取扱店舗拡大により増収

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

セグメント別業績概要 【農業支援事業】

単位：百万円

	2022年11月期	2023年11月期	**2024年11月期**	前期比
売上高	1,612	1,435	**1,899**	+32.3%
営業利益	▲127	▲108	**▲88**	–

セグメントの概況

■りんご販売については、天候不順の影響により十分な集荷量を確保できず、減収

■国産青果は主に、さつまいもの調達・販売の強化により、増収

■有機農産物販売は、主力の輸入有機商材が好調

■一方、国産の有機商材は調達が安定せず低調

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

事業構造改革の成果及び中期経営方針

E-supportlink, Ltd.

事業構造改革の成果

- 抜本的な事業構造の変革を強力に推し進め、持続的成長に向けた基盤を整備
- 経営体制の刷新と意思決定の迅速化による事業スピードの加速化

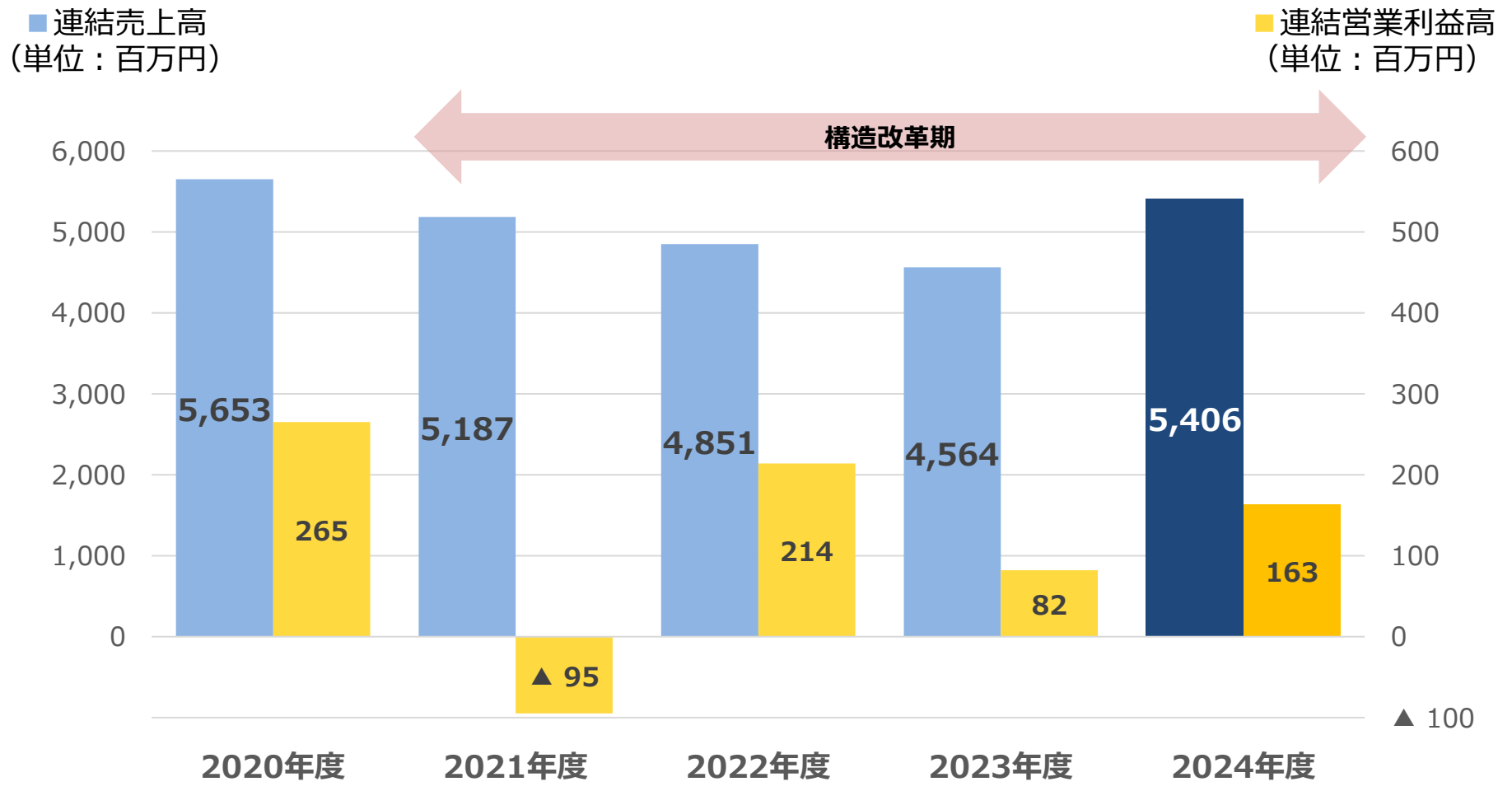
「新生イーサポートリンク」に向けた
事業構造改革による基盤整備

持続的成長へ

FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
	Phase1	**Phase2**	**Phase3**
構造改革	**既存事業の見極めと重点戦略事業への集中**	**コア事業への投資**	**コア事業の極大化**
人員のスリム化	**組織改革・意識改革**	**重点戦略事業イノベーション**	**重点戦略事業成長軌道へ**
構造改革期 Reform	**構造改革期 Reform**	**構造変革期 Innovation**	**事業成長期 Growth**

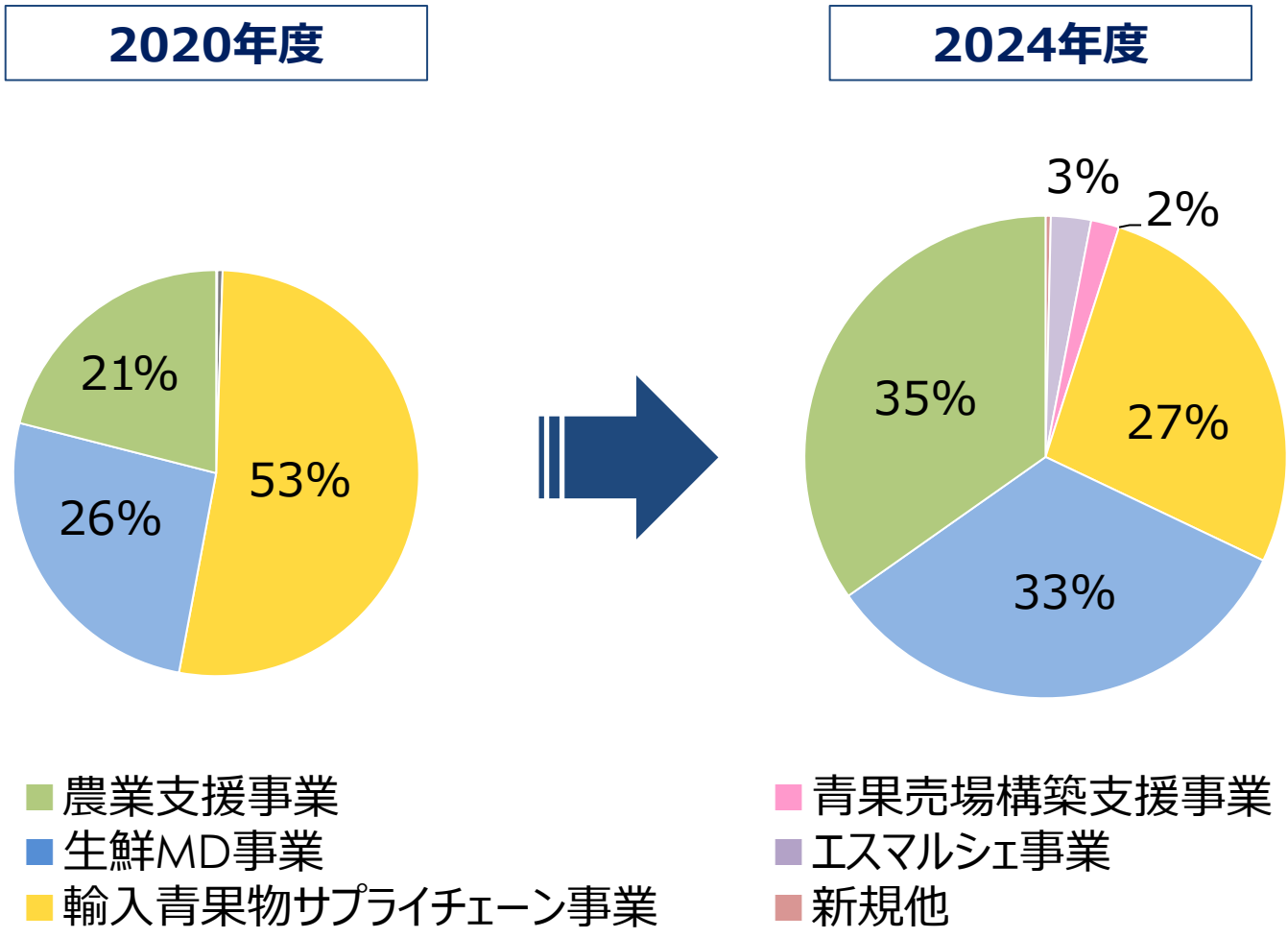
Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

事業構造改革後３年間の売上高、営業利益の推移



Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

売上構成の変化



Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

当社は現在および将来において
この２つのテーマに合致した事業のみを営んでいきます

地域社会の維持、発展、活性化への貢献

持続的に成長できる社会創りへの貢献

社会の成長に貢献しつつ
自らも持続的に成長する企業であり続けます。

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

（1） ３つの基本方針

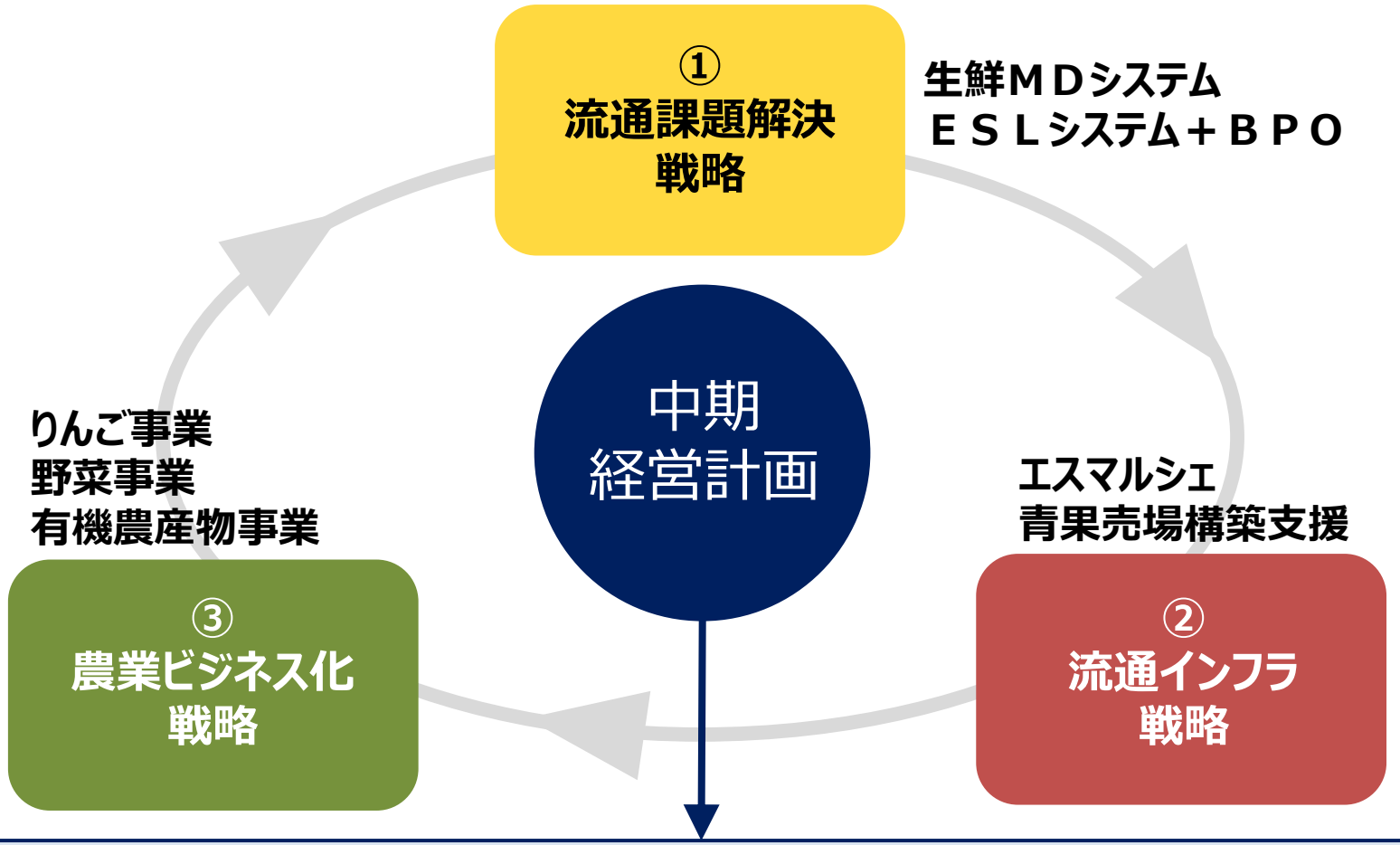
基幹事業
収益維持

積極投資

事業
ポート
フォリオの
組み換え

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

（2） ３つの事業戦略



当社が目指す姿

生産者が作った青果物を、途切れる事なく生活者の食卓に届け続けること
青果物の生産から流通、消費に関するすべての人々を幸せにすること

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

青果売場構築支援事業の目指す姿

青果売場構築支援事業

青果物を扱っていない業態へ「青果売場」を新たに取り入れることで売上・集客の向上に繋げる売場構築を支援するサービス。主にドラッグストアへの導入を進めており、調剤薬局併設店などの調剤待ち時間に買い物をしていただくなど利便性の向上や移動が困難なご高齢の方などへの購入機会の提供に繋がり、持続可能な社会創りに貢献してまいります。

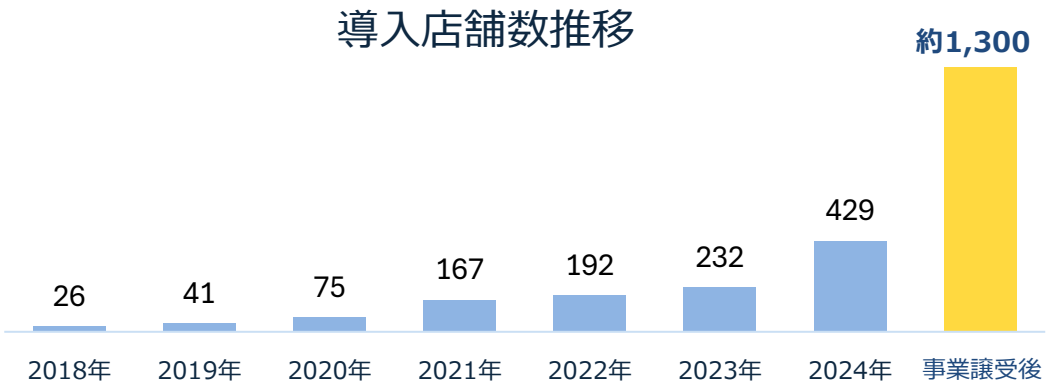
仕入れのコーディネート	季節商品や地場近郊野菜の仕入れをサポート
売場の構築・管理支援	店舗オペレーションの標準化、商品供給の仕組み作り、 催事等のプロモーション企画など魅力的な売場作りのサポート
取引形態	売上消化仕入　ラックジョバー形式

モノの流れ

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

同業他社からの事業譲受を決定

現状の”青果売場構築をサポート”するサービスではなく
『ラックジョバー型小売業』への転換を目指す。



	事業譲受前		事業譲受後
ドラッグストア社数	2024年12月現在 11社	▶	19社
運営エリア	関東＋東北	▶	全国展開
青果取扱高	13億円	▶	約40億
店舗数	429店舗	▶	約1,300店舗

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

ドラッグストア×青果売場 現状と今後の展開

E-supportlink,Ltd.

量から「質」へ

ドラッグストア × 青果売場 を増やすことから、

生活者の「満足度」向上へ

ドラッグストア × 青果売場

目的

ドラッグストア来店顧客へのワンストップショッピング実現
顧客の利便性向上で来店客数・売上増大を期待

現状

現仕組みでは顧客ニーズ・欠品状況把握が出来ない等課題あり
ドラッグストア来店顧客のワンストップショッピングは道半ば

あたらしい仕組みで売場を強くする

＜現状＞

導入店舗数の拡大

▶

＜今後目指す展開＞

導入店舗の
売場充実・売上アップ

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

生活者の満足度向上にむけた施策

1 売場の標準化

- どの店舗においても同じ売場クオリティーを実現する仕組みを構築

2 物流の適性化

- 適正な物流網により鮮度の良い商品を常に提供

3 商品力の強化

- データを活用した季節ごとのMD（マーチャンダイジング）の実践により魅力ある商品ラインナップを実現

魅力ある“売場”と“商品”により、
生活者の満足度向上を目指します

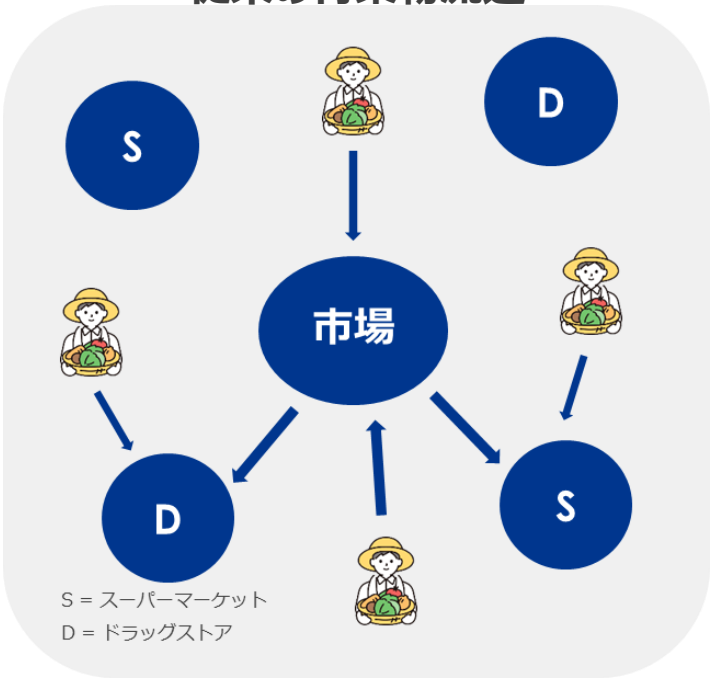
Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

E-supportlink,Ltd.

目的　地域社会を「食のバリューチェーン」で維持発展させる

- 地域の生産者から小売業までが直接繋がる仕組を拡大し、
  地域内青果物バリューチェーンを構築し、地域社会の維持発展に貢献する

従来の青果物流通

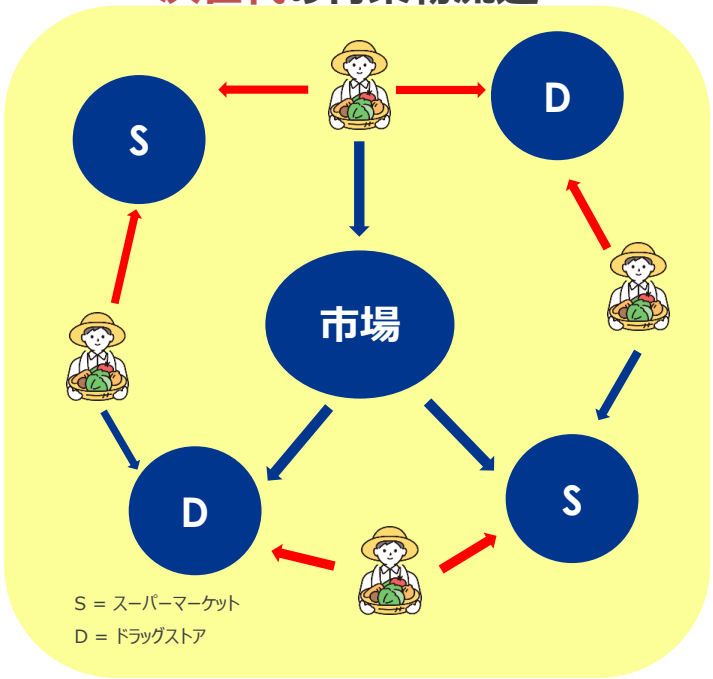


△ 生産者が売り先を自由に選べない

△ 供給がかたよる

△ 生産者→市場→小売への長距離配送

次世代の青果物流通



◎生産者が自由に売り先を選べる

◎生産者はより近い「地域の全ての小売」へ配送できる

◎価値ある販売（今朝採り、顔見え等）が可能

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2025年11月期連結業績見通し

E-supportlink, Ltd.

売上高・営業利益とも前期比10%以上の成長を計画

単位：百万円

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	**2025年11月期 計画**	前期比
売上高	4,563	5,406	**6,252**	+846（15.6%）
営業利益	82	163	**189**	+26（15.8%）
経常利益	76	182	**175**	▲7（▲3.4%）
親会社株主に帰属する当期純利益	46	135	**122**	▲13（▲9.7%）

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2025年11月期　セグメント別業績見通し

オペレーション支援事業

単位：百万円

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	**2025年11月期 計画**	前期比
売上高	3,127	3,507	**4,103**	+596（17.0%）
営業利益	1,065	1,187	**1,677**	+490（41.3%）

事業	2025年11月期の取り組み内容
輸入青果物 サプライチェーン事業	● 業務受託サービスのノンコア業務を外部に委託、コア業務へ注力 ● 人材を再配置し、営業強化に取り組む
生鮮MDシステム事業	● 顧客企業グループ各社への利用拡大に向けた営業を継続 ● 顧客のDX化に寄与する機能開発を実施 ● 画像・AI技術を用いた店舗運営の効率化の実証実験を開始
es-Marché （エスマルシェ）事業	● 生鮮MDシステムとの機能連携により、生鮮MDシステム利用企業への提案を強化 ● 新規顧客獲得に向けた営業を継続 ● 量販店のニーズを捉え、生産者を開拓。量販店との取引量の拡大を促進
青果売場構築支援事業	● フロンティア社から譲受した事業の運営安定化・効率化に注力 ● バナナ・みかんなど人気商材の当社仕入れによる販売を開始

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

2025年11月期　セグメント別業績見通し

農業支援事業

単位：百万円

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	**2025年11月期 計画**	前期比
売上高	1,435	1,899	**2,148**	+248（13.1%）
営業利益	▲108	▲88	**6**	+94（—%）

事業	2025年11月期の取り組み内容
りんご事業	● 集荷量アップに向け、自社農園を拡大 ● 中間集荷施設を新設し、近隣生産者の利便性を向上。安定した集荷体制を構築する
さつまいも事業	● 引き続き、主力商材であるさつまいもの調達・販売を強化 ● 当社グループの有機農場と連携し、有機さつまいもの栽培などシナジー効果を模索しながら、更なる事業拡大に取り組む
有機農産物事業（子会社）	● グループ各社の経営体制を見直し ● 各社の機能を十分に発揮する環境を構築し、グループシナジーの最大化に取り組む ● 小売向けの販売は継続しつつ、外食・業務用など原料向けの販売を開始

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

事業ポートフォリオの変革を目的として、10億円の投資枠予算を設定

単位：百万円

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	**2025年11月期 計画**
期初現預金	3,395	3,003	1,952
営業キャッシュフロー	+247	▲220	+350
うち税引前当期利益	+73	+145	+150
うち減価償却費	+109	+127	+190
投資キャッシュフロー	▲291	▲456	▲1,000
うち無形・有形固定資産取得	▲273	▲417	▲1,000
財務キャッシュフロー	▲348	▲375	+600
うち長期借入金増減	▲320	▲299	+630
現預金増減	▲392	▲1,051	▲50
期末現預金 同等物残高	3,003	1,952	1,902
期末有利子負債残高	850	490	1,120

- **ソフトウェアの開発・取得はもとより、事業買収、設備購入も新規投資の対象**

Copyright © 2025 E-supportlink, Ltd. All rights reserved.

本資料における注意点

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

＜ 本資料ならびにＩＲ関連のお問い合わせ先 ＞

イーサポートリンク株式会社　経営戦略部 ＩＲ担当

ＴＥＬ： 03-5979-0784 ／ Email ： IR@e-supportlink.co.jp